

4 調査

I 世論調査

区では、区民の区政に対する意識や意向を的確に把握するために、昭和 49 年から 2 年に一度、世論調査を実施しています。今回の調査は、経年変化をみる「定住性」等の項目と、「区議会」「公共施設」「品川区長期基本計画」等の項目について伺いました。

(1) 調査の概要

調査対象：品川区在住の満 20 歳以上の男女個人（平成 30 年 6 月 1 日現在）

抽出方法：層化 2 段無作為抽出法

対象者数：1,500 人

調査方法：調査員による個別面接聴取法

回収数：1,068 人

回収率：71.2%

調査期間：平成 30 年 6 月 22 日～7 月 20 日

(2) 調査の内容

平成 30 年度は、13 分野 41 問について調査しました。

- 1 定住性について
- 2 生活環境について
- 3 重点施策について
- 4 品川区長期基本計画について
- 5 区議会について
- 6 地域活動への参加について
- 7 環境について
- 8 ごみ減量・リサイクルについて
- 9 オリンピック・パラリンピックについて
- 10 防災について
- 11 読書と図書館利用について
- 12 広報と情報化について
- 13 シティプロモーションについて

(3) 調査の結果

① 定住性について

これからも引き続き品川区に「ずっと住みたい」（45.2%）と「当分は住みたい」（46.4%）を合わせると 91.6%で、定住意向は非常に高い水準となっています。また、東京都、区部との比較でみると、東京都より 14.6 ポイント、区部より 15.2 ポイント高くなっています。

② 生活環境について

生活環境を評価点でみると、「交通の便」や「買い物の便」といった利便性に関する項目の評価が高く、「騒音や振動」「空気の汚れ」「海・川・運河などの水の汚れ」といった都市・生活型公害に関連する項目の評価が低くなっています。

③ 重点施策について

区の施策の中で、今後特に力を入れてほしい施策は、「防災対策」が 29.6%と最も高く、次いで「安全な市街地整備（木造住宅密集地域の改善・空き家対策など）」（28.1%）、「子育て支援」（25.0%）、「高齢者福祉」「生活安全（防犯対策・歩行喫煙禁止など）」（同率 23.5%）の順になっています。

④ 品川区長期基本計画について

新計画の策定にあたり、【各分野のトップ項目】重視すべきだと思う取り組みは、『生涯学習・スポーツ活動、文化振興や人権尊重』では「生涯スポーツ施設の整備」（36.0%）、『品川区の産業』では「技術・技能の継承支援」（30.7%）、『乳幼児から青少年までの子どもの成長支援』では「多様な保育サービスの展開」（51.5%）、『健康・医療分野』では「救急医療体制の充実」（47.4%）、『高齢者や障害者を支える福祉分野』では「高齢者の就労の場の確保」（54.3%）、『水・みどり・環境および景観』では「清潔なまちづくり」（52.7%）、『まちづくり』、「歩きやすい道路環境づくり」（35.1%）、『安心・安全を見守る地域社会やコミュニティ』では、「地域でのサポートの充実」（35.6%）となっています。

⑤ 区議会について

区議会への関心をたずねたところ、「大いにある」（5.8%）と「ある」（15.3%）と「少しある」（28.3%）を合わせた『ある』計は 49.4%となっています。

⑥ 地域活動への参加について

町会・自治会の加入状況をたずねたところ、「加入している」が 54.1%となっています。一方、「加入していたことがある」(2.6%)と「加入したことがない」(28.6%)を合わせた『加入していない』は 31.2%となっています。

⑦ 環境について

家庭で食品がまだ食べられるのに捨ててしまうことがあるかをたずねたところ、「ときどきある」が 72.7%で最も高く、次いで「ほとんどない」が 21.1%となっています。

⑧ ごみ減量・リサイクルについて

過去2年間で、区が行っているごみ・リサイクルに関する情報について目にしたことがあるものをたずねたところ、『ごみ・資源の分け方・出し方』冊子(黄色い冊子)が 84.0%で最も高く、次いで、「ごみ・リサイクルカレンダー(地域センターなど区の施設で配布)」(60.6%)、「町会の掲示板・回覧板」(22.3%)という順になっています。

⑨ オリンピック・パラリンピックについて

大会開催までに必要なこと、大会後を見据えて必要だと思うことをたずねたところ、「子どもたちがオリンピック・パラリンピックを間近で経験する機会」が 63.6%と最も高く、次いで「子どもたちの英語などの語学力やスポーツ能力の向上」(53.2%)、「区内のまち(道路・施設など)の整備」(39.0%)という順になっています。

⑩ 防災について

今後充実すべき防災対策についてたずねたところ、＜自助・共助＞では「防災用品の備蓄(非常用携帯トイレ、水など)」が 93.3%と最も高く、次いで「家具の転倒・落下防止対策」(29.0%)という順になっています。＜公助＞では「防災訓練やしながわ防災体験館などによる防災普及教育」が 80.7%と最も高く、次いで「さまざまな情報発信」(14.8%)という順になっています。

⑪ 読書と図書館利用について

1カ月の読書量をたずねたところ、＜紙の本＞では「ほとんど読まない」が 57.5%となっています。「1～2冊」は 28.4%、「3～4冊」は 11.0%となっています。＜電子書籍＞では「ほとんど読まない」が 54.3%となっています。

「1～2冊」は24.0%、「3～4冊」は19.9%となっています。

⑫ 広報と情報化について

区に関する情報の入手先をたずねたところ、「区のお知らせ 広報しながわ」が53.7%と最も高く、次いで「品川区ホームページ」(22.6%)、「ふれあい掲示板(統合ポスター)『〇月のしながわ』」(14.2%)という順になっています。

⑬ シティプロモーションについて

品川区に愛着や親しみ、誇りを感じるかたずねたところ、「感じている」(40.9%)と「どちらかといえば感じている」(49.6%)を合わせた『感じている』計は90.5%となっています。一方、「どちらかといえば感じていない」(2.2%)と「感じていない」(1.8%)を合わせた『感じていない』計は4.0%となっています。